

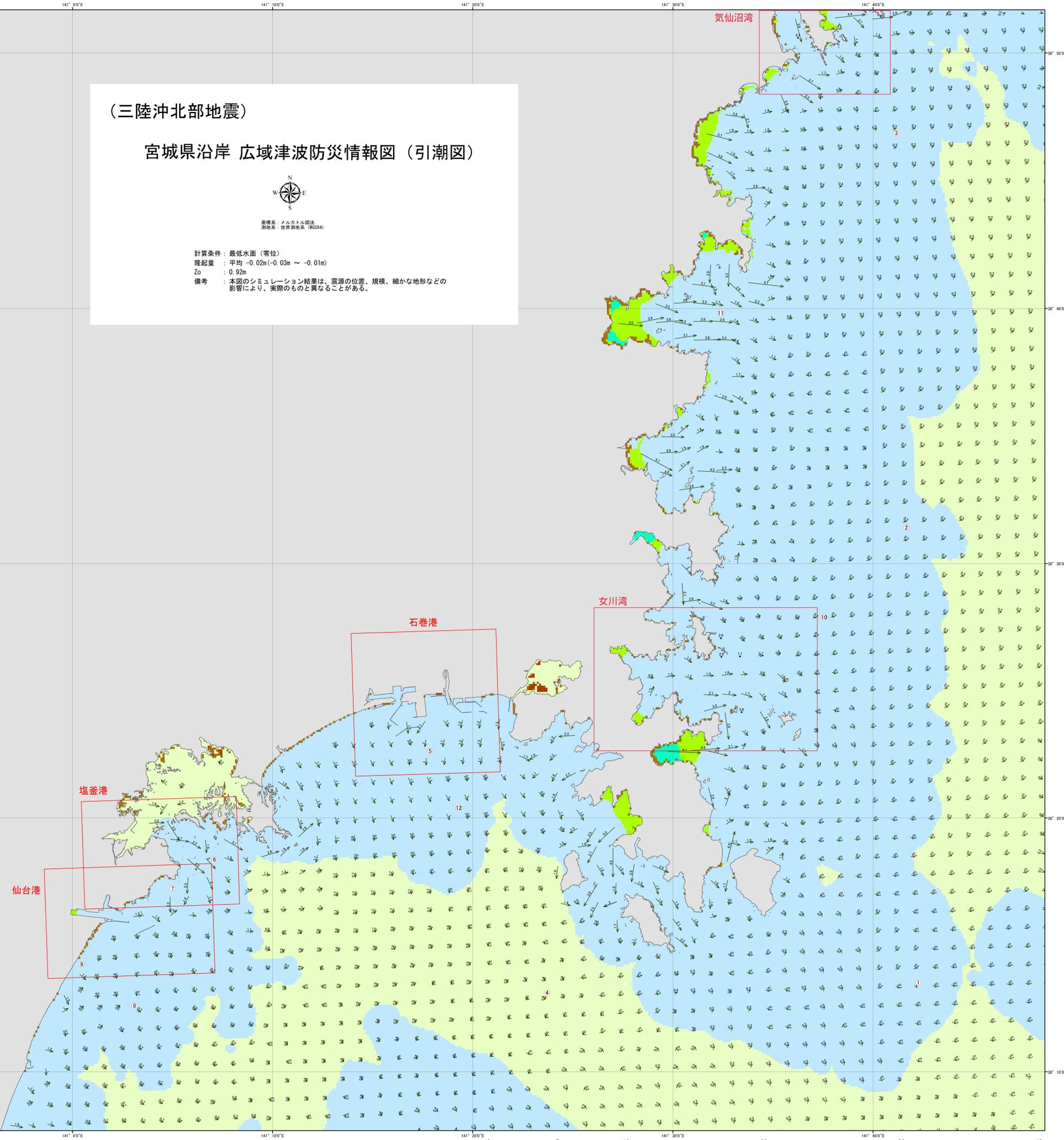
(三陸沖北部地震)

宮城県沿岸 広域津波防災情報図 (引潮図)



座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件：最低水面（零位）
隆起量：平均 -0.02m (-0.03m ~ -0.01m)
Z₀：0.92m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



凡例

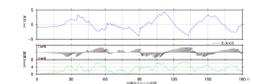
最大水位低下

- 3~最大4.8m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

(No) 経緯変化出力点

(図上の位置における津波の挙動を個別の経緯変化図で示す。)

(No) 水位、流向・流速経緯変化図

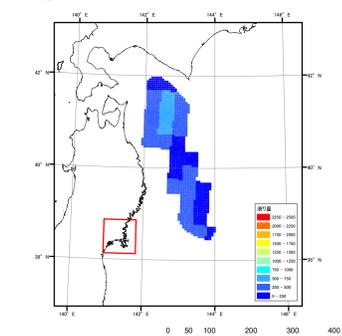


引潮時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



三陸沖北部地震
モーメントマグニチュード Mw 8.4

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺型海溝地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

- 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
- 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 - ・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関：海上保安庁
防災情報作成年月：平成29年12月（初版）
地図データ作成年月：平成29年1月（初版）

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。

